

誰もが知ってるようで
実は全然!?知らない

通称「強制保険」とも呼ばれ、
全車両に加入が義務づけられる
自賠責保険の現状を探る!

自賠責 保険のAtoZ

数年前に値下がりしたかと思えば、またまた値上がりになった自賠責保険の保険料。これに入らないと車検が通らない、まさに強制加入の保険だが、実際に保険の適用を受けた経験のある人ならともかく、ほとんどの一般人はどんなモノかわからないで保険料を負担しているはず。

そこで今回は、クルマを所有する人なら誰もが入ってる。だけど、どんなものかはよく知らない、自賠責保険の概要をおさらいしてみよう。



理由は主に2つ。そのひとつは、運用益の還元による引き下げは、当初より2008年から2012年までの5年間限定だったこと。そしてもうひとつは、困ったことに5年前の想定より保険金の支払いが増加し、運用益の補填がピンチに陥ってしまった、という事情がある。

支払いが増えた背景には、事故は減っても後遺障害など医療費のかかる保険請求が増加したためという。今回の引き上げ率は平均で13・5%だが、とりわけ軽自動車の上げ幅が大きいことが目を惹く。その一方、小型二輪は若干の引き下げになっている。

この自賠責保険料は年間の交通事故の件数や、事故で死亡、または負傷した人の数により負担額が変動する。ここ数年の保険料の推移は表のとおりで、去る2008年の春、一気に値下がりしたのは交通事故の減少により保険金の支払いも減ったため。それに加えて、過年度分の累積運用益が1兆円(※)以上にも達し、その分を赤字補填に還元することで保険料の大幅な引き下げに至った、というわけ。

この春、自賠責保険料が高くなるその理由とは…

保険金の支払いが予想より増えた!?

この春、
自賠責保険料が
高くなる
その理由とは…

●自賠責保険料の推移(24ヵ月分/沖縄、離島を除く)

	~2008年3月	2008年4月~	2011年4月~	2013年4月~
自家用乗用車	3万830円	2万2470円	2万4950円	2万7840円
軽自動車	2万5000円	1万8980円	2万1970円	2万6370円
小型二輪(251cc~)	2万240円	1万3400円	1万4110円	1万3640円
原動機付自転車	1万140円	8790円	9420円	9870円

普通車は2890円、
軽は4400円もUP!

▲クルマの自賠責保険料が近年もっとも高かったのは、2008年3月までの3万830円。その後、一気に8000円以上も安くなったが、2011年4月以降は再びじわじわと上がり始めている。